



D O N C どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

〒514-0006 津市広明町418  
418, Komei-cho Tsu-shi  
TEL 059-226-2766  
FAX 059-229-0967

N° 68 mai 2004 SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

## 総会は7月11日(日) 終了後に「パリ祭」パーティー

渡辺芳敬氏(横浜市大)が記念講演

三重日仏協会2004年度総会は、来たる7月11日、津市の「プラザ洞津」で開催します。引き続き恒例の「パリ祭」パーティーを予定しています。会員各位への詳細の通知と出欠のハガキは後日送付いたしますが、せいぜいご予定いただくようお願いします。今回の総会記念講演には、かつて三重大学に在籍された横浜市立大学助教授の渡辺芳敬先生をお招きし、ご専門の現代フランス思想を中心に入門的なお話をいただきます。これは昨年の総会で、今後哲学などの話も聞きたいという会員の要望が出されたのに応えるものです。「とっつきにくい」と敬遠せずご来聴ください。なお先生は昨年からの3月までの1年間を研究のためパリで過ごされて帰国されたばかりということもあって、本筋の現代思想のお話のほかに、パリの魅力についてや、ご趣味の(その域を超えた?)映画・演劇、ミュージカルなどの話題も豊富にお聞かせいただけるものと期待されます。

渡辺芳敬(諒)氏

1952年生まれ 早稲田大学文学部卒

パリ第一大学哲学博士号取得

第34回「群像」新人文学賞(評論部門)受賞

主要著書 「現代フランス思想を読む」 「バルト以前/バルト以後」

「20世紀フランス思想を読む」 「セガレン著作集6〈碑〉」(共著)ほか

### 6/26 料理教室〈フランスの家庭料理を楽しむ〉

久しぶりに三重日仏協会主催の料理教室を開きます。今回の講師は名古屋在住のフランス人女性で、四日市市でもフランス語講座をもつミシェル・ランジュバンさん、お得意のフランス家庭料理作りを指導していただきます。定員は20人ほどで一般公開、事前に申し込みが必要です。

・日時 6月26日(出)午前10時 ・参加費 (材料費など) 2,000円  
・場所 津市白塚公民館(予定)

問い合わせ、申し込みは 平井さん 059-268-3072  
滝沢さん 059-225-2517 まで。

3/27 文芸講演会 柏木隆雄先生 (VI)

—— アルフォンス・ドーデ『最後の授業』  
—— アルザス、プロヴァンスそして日本 ——

三重日仏協会主催による今年度の文芸講演会は、今回も大阪大学教授・柏木隆雄先生（松阪市出身）にお願いして、3月27日（土）津市のアスト津で開催しました。1994年の第1回「フランスの詩、日本の詩」以後、6回目のご講演。今回はプロヴァンス出身の作家アルフォンス・ドーデ Alphonse Daudet（1840-1897）の『最後の授業』を中心にお話しいただき、会員外の方を含め30数人の聴衆が熱心に聴講しました。

## 隠れた「キーワード」

『最後の授業』は、日本でも児童文学書や教科書などでも取り上げられておなじみの作品で、シーンは19世紀後半、普仏戦争に敗れた直後のフランス・アルザス地方（ドイツ領に割譲された）の小さな町のある朝。フランツ少年はアメル先生からフランス語の授業で分詞（participes）についての宿題を出されたのにわからないことを苦にして登校をためらいますが、意を決し遅れて教室に入ります。するといつもとまったく異なった雰囲気。この日がアメル先生の最後の授業であることがわかります。「ベルリンからの命令でアルザスとロレーヌの学校ではドイツ語だけしか教えられないことになり、新しい先生が来られる。今日が皆さんの最後のフランス語の授業です」。そしてアメル先生はフランス語がいかに美しく素晴らしい言葉であるか、たとえ民族が奴隷状態に陥っても自分たちの言葉をしっかりともち続けることが大切だ、と説き、「フランス万歳」と結びます。

柏木先生は、ドーデの出自から話し始め、この作品が当時（1872）のフランスの新聞に毎週連載された短編集『月曜物語』のなかの一編であることを明らかにされた上で、作品の要所々々を原文と訳文を対比させながら詳しく解説されました。

そのなかで特に印象深かったのは、短い小説にもじっくり読めば大事なキーワードのようなものが見つかるという指摘で、例えば、なぜこの授業の宿題が〈分詞=participe〉でなければならなかったのか？分詞には過去分詞と現在分詞しかなく「未来」がないという暗示ではないか、また同族語の動詞participerは「参加する、寄与する」から「従属する、巻き込まれる」の意味もあり、プロシャへのparticiperが連想される。ほかに、règleなる語。分詞の規則の「規則」の意味でと、アメル先生がもっていた鉄の定規の「定規」の意味で使われている。フランツが登校前の散歩中に見たプロシャ兵の訓練の厳格な「規律」も連想される。etc.

さらに柏木先生は、ドーデがかつて夏目漱石らをはじめわが国でもたいへん高く評価されていたこととともに、国語教育の重要性を強調され、昨今の大学が実利性偏重におちいつているのではないかと、また外国語教育も会話重視のあまり読み書きや考えることをおろそかにしているのではないかと、日本の教育の現状に疑問を投げかけられました。



## 作品の政治性や民族問題で質問

このあと聴衆からの質問を受けましたが、作品の性格上、純文学的な問題以外に、民族・言語や政治的な論議は避けがたく、『最後の授業』のプロパガンダ性やナショナリズム的な傾向などについても質問や意見が次々と出され、先生との応答のなかでさらに理解が深まったようでした。

4 / 10

## リヨンからの留学生歓迎会 四日市

本紙前号で紹介した四日市のワインとチーズの専門店〈スズヤ〉が、店の二階に飲食できるコーナーを開設したのを機に、三重日仏協会の四日市のメンバーが中心となって今年もリヨン大学から三重県に企業研修や留学に来ている3人のフランス女子学生の歓迎会を4月10日の夜開催しました。3人は、昨秋から三重大学人文学部（政治学）に留学中のエミリー・ビュジャEmirie BUGEАさん、この4月から4ヵ月間の予定で四日市近鉄百貨店で企業研修中のマリ＝リーヌ・ノッタンMarie-Line NOTTINさんとシャルロット・パネルCharlotte PANEL さんです（写真左から）。



4 / 18

## 静岡日仏協会が「新たな出発」総会とパーティー

創立50年の歴史をもちながら「数年来活動が休眠状態にあった」（同会会報より）静岡日仏協会はこのほど静岡県内における日仏交流、フランス文化関係のネットワーク作りのため、会則や人事など体制を一新して再出発することとなり、4月18日（日）、静岡駅前のAOI講堂で第1回総会と記念パーティーを開催しました。パーティーには同会員多数のほか駐日フランス大使館のパトリス・ジョルラン文化担当官、アリアンス・フランセーズ愛知のジャン＝ポール・ピエルソン館長ら多くの来賓が参加、三重日仏協会からも井土副会長が招かれて出席し交流を深めました。

同会の2004年度活動計画によりますと、フランス語講座4コース、講演会、フランス映画フェスティバル、学生翻訳コンクール、その他多彩なものになっており、広く情報交換を望んでいます。

静岡日仏協会のホームページ：[www.afj-sz.com/](http://www.afj-sz.com/)

2 / 21

## 津文化協会「おしゃべりサロン」でワイン談義

津文化協会（辻本當理事長）は、各種文化事業のほかに会員の親睦と視野を広める目的で、半年に一度「おしゃべりサロン」を開いていますが、今回そこで実際のテイスティングを含めてワインの基礎的な話をしてほしいという要望があり、2月21日、津市大門の大門館に三重日仏協会から井土、長田が出向き、20数名の参加者を前にワイン談義を繰り広げ好評を得ました。

## 〈ラ・パルム・ドール〉の後藤シェフが「自伝」を出版

津市一身田でフランス料理店〈La Palme d'Or〉を経営し、シェフ（料理長）を務める後藤雅司さん（41歳・三重日仏協会会員）は、このほどご自分の波乱万丈の半生をリアルに綴った本『俺はあきらめない・・・不良少年フレンチシェフになる』を出版し話題となっています。つっぱっていた少年時代から、国内とフランスの数多くの料理店での厳しい修業の様子、現在の店の出店のいきさつ、さらに氏の不屈の向上心と料理哲学など、多忙な仕事の合間に執筆したという内容は興味深く魅力的です。草思社発行、1470円。県内の書店または〈ラ・パルム・ドール〉で発売中。

## 地中海レストラン〈Cous Cous〉熊野市に開店

三重日仏協会会員の濱野豊彦さん夫妻が長年尾鷲市で経営していたレストラン「クスクス」が、このほど熊野市有馬町に移転オープンし好評を博しています。得意のレパートリーは地元産の新鮮な魚介類を素材にして南仏、イタリア、スペイン風に調理した「地中海料理」など。少し遠いですが会員の皆さんも南紀観光をかねてぜひ一度おいでください、とのこと。営業時間は5:30～9:30。火曜日定休。

熊野市有馬町5821-116 ☎0597-85-4369

7/2

### 後援事業 MUSAION・サマーコンサート 〈ソロとデュオの愉しみ〉Ⅲ

- ・日時 7月2日（金）午後7時開演
- ・場所 津リージョンプラザお城ホール
- ・入場料 2,000円（当日2,500円）
- ・出演 pf. 針谷宏弥 sop. 針谷斐子 vn. 加藤慧子  
（連絡先）MUSAION演奏企画室 059-227-0454

### フランス留学とロングステイの案内

### 日仏文化協会より

パリをはじめフランス各地での短期留学（1～8週間）、長期留学（約8ヵ月）と、ロングステイ（半月～3ヵ月）の企画を紹介するパンフレットが東京の日仏文化協会から届いています。ご希望の方は井土（059-226-2766）まで。

訃報 大橋 与成さん（会員・四日市市） ご冥福を祈ります

ご病気療養中のところ、2月7日逝去されました。享年81歳。大橋さんはベトナムやクエートなどに長く滞在されてフランス語が堪能でした。著書に『仏領印度支那にさ迷う』『戦後の昭和・雑記帳』。本紙62号にも興味深い随想を執筆されました。